



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月28日

上場会社名 信越ポリマー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7970 URL <http://www.shinpoly.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）赤澤 宏
 問合せ先責任者（役職名）経理グループマネジャー（氏名）平澤秀明（TEL）03(5289)3716
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	45,609	△4.6	749	△5.6	942	7.5	359	209.8
24年3月期第3四半期	47,819	△10.9	793	△71.6	876	△63.5	115	△90.5

（注）包括利益 25年3月期第3四半期 518百万円（－％） 24年3月期第3四半期△1,199百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.42	—
24年3月期第3四半期	1.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	78,880	60,472	75.6
24年3月期	81,017	60,749	73.9

（参考）自己資本 25年3月期第3四半期 59,655百万円 24年3月期 59,862百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
25年3月期	—	4.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	63,000	0.6	1,100	2.7	1,200	△3.9	400	31.6	4.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	82,623,376株	24年3月期	82,623,376株
25年3月期3Q	1,338,489株	24年3月期	1,337,989株
25年3月期3Q	81,285,145株	24年3月期3Q	81,285,852株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、日本では一時持ち直しの動きがみられましたが、円高の長期化、新興国経済の減速など、日本経済及び世界経済の先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の市場環境につきましては、デジタル家電市場の低迷、また、半導体業界の設備投資抑制など、依然として厳しい状況が続きました。

このような背景のもと、当社グループは、新製品提案や新規顧客開拓を重点に販売活動を進める一方、生産面では固定費の削減や生産効率の向上などに努めましたが、全体としては低調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は456億9百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益は7億49百万円（前年同四半期比5.6%減）、経常利益は9億42百万円（前年同四半期比7.5%増）、四半期純利益は3億59百万円（前年同四半期比209.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子デバイス事業

当事業では、自動車関連製品や防水製品の出荷を伸ばしましたが、全体としては厳しい状況が続きました。

入力デバイスでは、自動車用キーパッドは順調に出荷を伸ばしましたが、自動車用タッチスイッチ及びパソコン用タッチパッドは、下半期から、中国における日系自動車メーカーや一部パソコン機種が生産調整などがあり、前年並みの出荷となりました。また、携帯電話用キーパッドは需要減少が続き、売上げは前年を大きく下回りました。ディスプレイ関連デバイスでは、下半期に入りATM用の視野角制御フィルム（V C - F i l m）の欧州向け出荷が減少しました。コンポーネント関連製品では、スマートフォン向け防水製品が、防水機能の標準化を背景に、売上げを伸ばしました。

この結果、売上高は114億73百万円（前年同四半期比10.4%減）、セグメント損失(営業損失)は34百万円（前年同四半期は3億72百万円の損失）となりました。

②精密成形品事業

当事業では、OA機器用部品は出荷を伸ばしましたが、半導体関連容器が振るわず、全体としては低調に推移しました。

半導体関連容器は、半導体業界の低迷が続いており、出荷は低調に推移しました。キャリアテープ関連製品は、一部の携帯情報端末向けなどで調整局面があり、全体としては前年並みにとどまりました。また、OA機器用部品は、生産調整の影響がありましたが、売上げは前年を上回りました。シリコンゴム成形品は、医療関連製品は堅調でしたが、電子部品用製品及び健康関連製品は、低調に推移しました。

この結果、売上高は168億74百万円（前年同四半期比6.6%減）、セグメント利益(営業利益)は11億64百万円（前年同四半期比24.9%減）となりました。

③住環境・生活資材事業

当事業では、上半期に天候不順の影響による受注変動もありましたが、全体として前年並みとなりました。

ラッピングフィルムなど包装資材関連製品は、天候不順や節約志向などが、スーパーや外食産業向け出荷に影響しましたが、底堅く推移しました。機能性コンパウンドは、自動車向け新製品などが寄与し、概ね堅調な出荷となりました。塩ビパイプ関連製品は、市場全体の需要は低調でしたが、住宅着工に緩やかな回復の兆しが見られ、前年並みに推移しました。外装材関連製品は、荒天による一時需要がありましたが、前年並みにとどまりました。

この結果、売上高は132億23百万円（前年同四半期比0.0%増）、セグメント損失(営業損失)は3億17百万円（前年同四半期は2億16百万円の損失）となりました。

④その他

工事関連事業では、首都圏における食品スーパーの改装物件などの受注が堅調に推移しましたが、価格競争の影響がありました。また、農業資材・機械の受注が寄与し、売上げは前年を上回りました。

この結果、売上高は40億38百万円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント損失(営業損失)は1億1百万円（前年同四半期は89百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①総資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は788億80百万円（前連結会計年度末比21億37百万円の減少）となりました。これは、仕掛品が4億24百万円、無形固定資産のその他が7億12百万円それぞれ増加したこと、また、現金及び預金が14億19百万円、受取手形及び売掛金が8億22百万円、商品及び製品が6億90百万円、投資その他の資産の繰延税金資産が1億30百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は184億7百万円（前連結会計年度末比18億60百万円の減少）となりました。これは、未払費用が5億95百万円、流動負債のその他が設備工事支払手形の増加などにより3億6百万円それぞれ増加したこと、また、支払手形及び買掛金が23億27百万円、賞与引当金が3億28百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は604億72百万円（前連結会計年度末比2億77百万円の減少）となりました。これは、為替換算調整勘定の増加1億73百万円、利益剰余金の減少3億72百万円などによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して1.7ポイント増加し、75.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年7月25日に公表いたしました内容から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ30百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,688	27,269
受取手形及び売掛金	18,746	17,923
商品及び製品	5,143	4,453
仕掛品	831	1,256
原材料及び貯蔵品	2,174	2,242
未収入金	1,215	1,112
繰延税金資産	559	532
その他	548	563
貸倒引当金	△123	△91
流動資産合計	57,786	55,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,347	7,013
機械装置及び運搬具（純額）	4,497	5,012
土地	6,129	6,139
建設仮勘定	1,019	800
その他（純額）	822	774
有形固定資産合計	19,816	19,739
無形固定資産		
ソフトウェア	117	93
その他	30	743
無形固定資産合計	148	836
投資その他の資産		
投資有価証券	1,194	1,142
繰延税金資産	1,122	992
その他	948	905
投資その他の資産合計	3,266	3,040
固定資産合計	23,231	23,616
資産合計	81,017	78,880

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,948	12,620
短期借入金	0	45
未払金	554	407
未払法人税等	184	200
未払費用	1,058	1,653
賞与引当金	708	380
役員賞与引当金	—	20
その他	520	826
流動負債合計	17,975	16,154
固定負債		
長期借入金	3	2
退職給付引当金	1,752	1,742
資産除去債務	183	185
その他	352	321
固定負債合計	2,291	2,252
負債合計	20,267	18,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,469
利益剰余金	45,598	45,226
自己株式	△944	△945
株主資本合計	66,758	66,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	112
為替換算調整勘定	△7,017	△6,843
その他の包括利益累計額合計	△6,896	△6,730
新株予約権	248	184
少数株主持分	639	632
純資産合計	60,749	60,472
負債純資産合計	81,017	78,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	47,819	45,609
売上原価	36,007	34,212
売上総利益	11,812	11,397
販売費及び一般管理費	11,018	10,648
営業利益	793	749
営業外収益		
受取利息	97	137
その他	91	94
営業外収益合計	188	231
営業外費用		
支払利息	25	26
為替差損	73	—
その他	7	11
営業外費用合計	105	37
経常利益	876	942
特別利益		
固定資産売却益	3	18
投資有価証券売却益	—	8
新株予約権戻入益	120	79
特別利益合計	124	107
特別損失		
固定資産除却損	11	16
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	29	31
会員権評価損	4	—
特別損失合計	46	48
税金等調整前四半期純利益	955	1,002
法人税、住民税及び事業税	516	505
法人税等調整額	341	144
法人税等合計	858	650
少数株主損益調整前四半期純利益	96	351
少数株主損失(△)	△18	△7
四半期純利益	115	359

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	96	351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	△8
為替換算調整勘定	△1,250	174
その他の包括利益合計	△1,296	166
四半期包括利益	△1,199	518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,157	524
少数株主に係る四半期包括利益	△42	△6

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,804	18,073	13,217	44,095	3,724	47,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,804	18,073	13,217	44,095	3,724	47,819
セグメント利益又は損失（△）	△372	1,549	△216	961	△89	871

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	961
「その他」の区分の利益	△89
棚卸資産の調整額	△94
固定資産の調整額	9
貸倒引当金の調整額	6
四半期連結損益計算書の営業利益	793

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,473	16,874	13,223	41,571	4,038	45,609
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,473	16,874	13,223	41,571	4,038	45,609
セグメント利益又は損失（△）	△34	1,164	△317	811	△101	710

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	811
「その他」の区分の損失	△101
棚卸資産の調整額	26
固定資産の調整額	8
貸倒引当金の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業利益	749

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。